

平成 20 年度第 2 回 産業技術実用化開発助成事業 採択課題一覧

	事業者名	開始期間	事業名	事業概要
1	エヌビイエル株式会社	H20.9～	遠心成形法による 500 気圧 FRP 高压管の実用化	本事業者は独自の遠心成形法により、鋼管より強く、腐食せず、より経済的で、従来の FRP 管の約 2 倍の強度、100 倍の生産性を有する API 規格 FRP 管の生産設備の開発に成功した。しかし現状では使用耐圧 250 気圧(破壊圧 450 気圧)の FRP 管の生産に止まっている。本事業では、従来不可能であった 5000m 級油井に対応する使用耐圧 500 気圧(破壊圧 900 気圧)高压管の量産化技術の開発を行い、油井寿命の延長と深井戸への適応で石油生産拡大に資する。
2	株式会社片山化学工業研究所	H20.9～	過酸化水素系薬剤を用いた革新的なバラスト水処理システムの開発	船舶の運航に不可欠なバラスト水を媒体とする有害水生生物の国際間の移動・拡散が、地球規模の海洋環境保護問題となっており、2004 年 2 月に国際海事機関(IMO)において「バラスト水管理条約」が採択された。本事業では、バラスト水中の有害水生生物を殺滅する高い処理能力に加え、排出時には周辺環境への高い安全性を有したバラスト水排出基準を満たす処理システムを開発する。
3	河村産業株式会社	H20.9～	次世代ハイブリッド自動車用 H 種絶縁材料の実用化技術の開発	ハイブリッド自動車等高性能モーター用 H 種(180℃)絶縁材料として、耐加水分解性に優れる PPS フィルムとアラミド紙の積層材料が求められているが、好適な接着剤が無いため、接着剤方式では実用化に至っていない。独自の新規技術のプラズマ表面改質により、無接着剤方式で融点以下で接着できる高効率な量産実用化技術を開発する。